

スマート加賀推進事業実行計画（加賀市スマートシティ推進官民連携協議会）

人間中心の未来社会の実現を目指す。

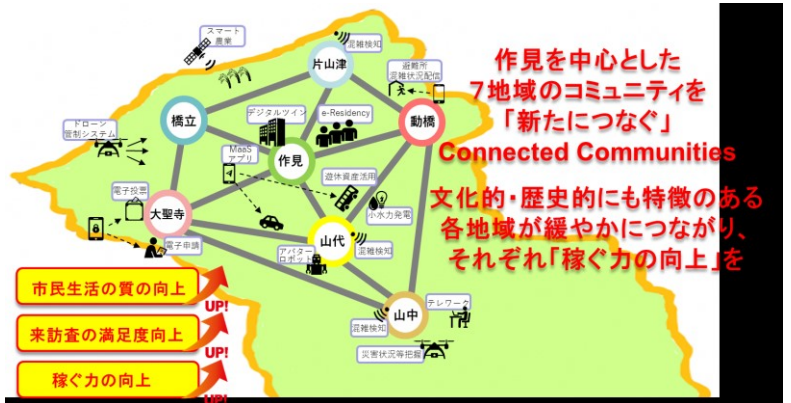
多極分散型の都市構造による非効率な都市経営を解決するため、各分野に分散している各種データを連携させる相互運用性を確保したオープンなデータ連携基盤を整備し、そのデータを基にマイナンバーカード等を活用して、全体最適化された民間サービスや行政サービスを提供することで、人間中心の未来社会の実現を目指す。

目標

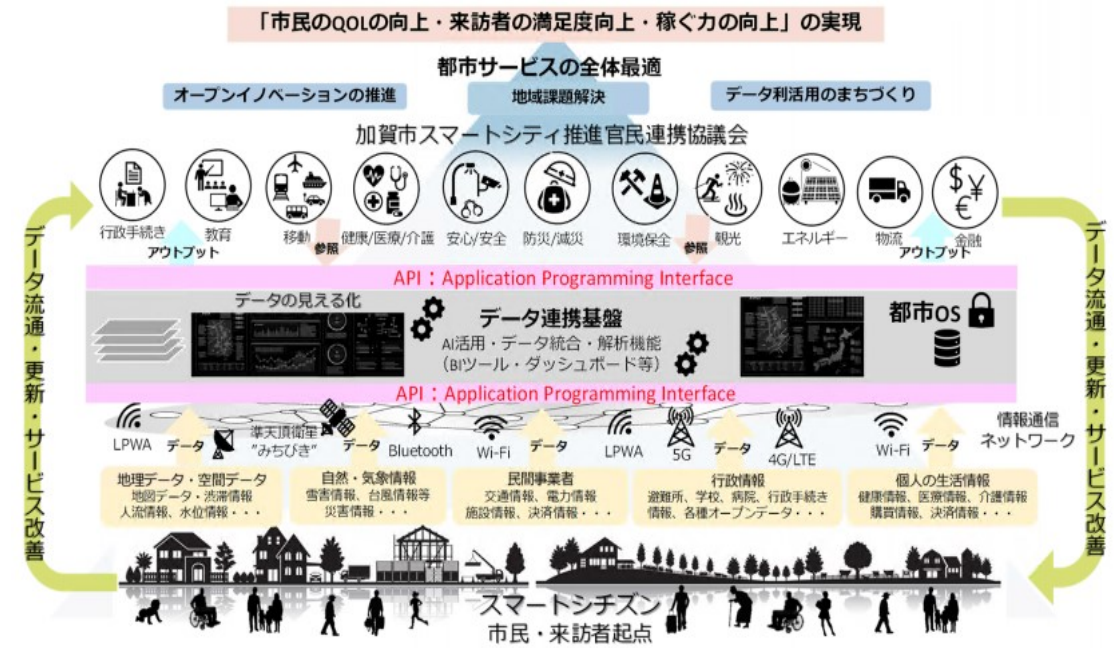
- ・転出超過者数：(H30)230人⇒(R6)100人
- ・宿泊観光客数：(H30)176.7万人⇒(R6)200.0万人
- ・スマートシティを構成する新技術の社会実装数(H30)0件⇒(R6)5件

取組概要

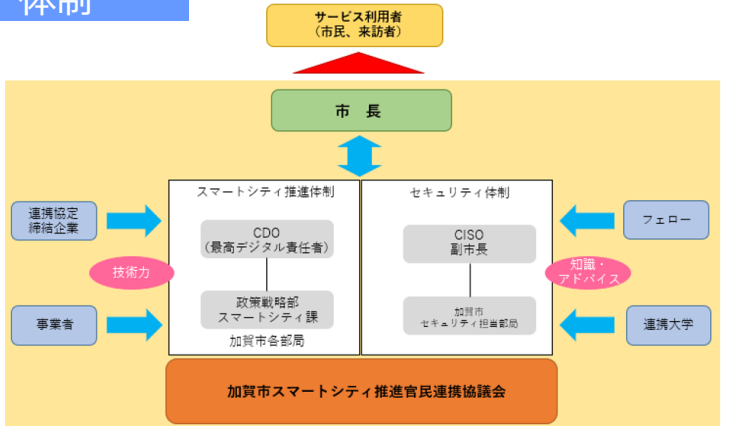
ロボットやAI、IoT等をはじめとしたデジタル技術、情報通信技術を活用し、データ収集・解析し、新たなサービスを開発・提供することにより、地域が抱える課題を解決し、分野横断的に都市活動全体が最適化され、「市民生活の質の向上」や「来訪者の満足度の向上」、「稼働力の向上」を目指す。



将来像



体制



スケジュール

	2021年	2022年
データ連携	データ連携基盤整備、データモデル整備	API接続検証、データ連携基盤本運用開始、データモデル実装
ドローン	3Dマップの整備	ドローン・エアモビリティの活用推進 ※各種実証など
加賀POTAL	加賀POTALの整備	※様々なスマートシティサービスとの連携
MaaS	MaaSアプリの整備	MaaSによる交通網の拡充
災害状況可視化		災害状況可視化事業
e-加賀市民	e-Residency施策設計・調整	e-Residency施策開始・関係人口増加